豊田市長　太田　稔彦　様

美里地域会議　提言書

高齢者のくらしに関する意見交換会（令和８年１月開催）

美里地域会議委員

会　長	野村　耕一		
副会長	加藤　智江		
委　員	小林　健一	清水　幸男	鈴木　智映子
	鈴木　美喜世	高橋　重樹	手嶋　英之
	原　淑子	吉本　勝	渡邉　慎大

令和８年 10 月９日

美里地区における人とのつながりと地域参加を通じた
高齢者支援に関する提言

1　提言の背景

美里地域会議では、令和７年３月に市へ提出した「美里地区の高齢者福祉に関する提言」において、美里地区の高齢者が抱える課題を的確に把握するため、地域性を踏まえた高齢者実態調査を実施する必要があると提言しました。

この提言を受け、市において令和７年４月から令和８年３月にかけて、地域課題解決事業として「美里地区の高齢者に関する実態調査」を実施していただきました。地域会議としても委員が調査活動に協力し、地域の実情や高齢者の生活状況を丁寧に把握するための取組を進めてまいりました。

調査では、

・美里地区の住民を対象としたアンケート調査（対象者数 1,350 人、回収数 1,131 人、回収率 83.8%）

※美里地区の 65 歳以上の住民約 5,500 人の中から、無作為に抽出した 1,350 人を対象として実施。

・地区内で活動する各種団体へのヒアリング調査（5 回開催、延べ 23 団体参加）

・住民および団体との意見交換会（1 回開催、32 人参加）

を実施し、美里地区の高齢者を取り巻く地域の状況や課題を多面的に把握することができました。

この提言は、これらの調査を通じて明らかとなった地域の実情や課題を踏まえ、要支援・要介護認定を受ける前の高齢者（以下「要介護認定前の高齢者」という。）が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、人とのつながりや地域参加を通じた高齢者支援の充実に向けた取組について提言するものです。

２　現状と課題

調査の結果、要介護認定前の高齢者においても、人とのつながりや地域参加の面で課題を抱えていることが明らかになりました。

具体的には、

・地域の情報が十分に届かず、地域活動や交流の機会を知ることが難しい

・近隣住民との日常的な交流や、気軽に参加できる場が少ない

・地域活動に関心や参加意欲があっても、参加するきっかけが得られない

といった状況が確認されました。

これらの要因により、地域での関係づくりや参加のきっかけが生まれにくくなり、高齢者の孤立や地域とのつながりの低下につながることが懸念されます。

一方で、高齢者は支援を受けるだけの存在ではなく、これまで培ってきた経験や知識を生かし、地域を支える重要な存在でもあります。

そのため、元気なうちから地域とのつながりを持ち続け、地域活動に参加し、活躍できる環境を整えることが、孤立の予防や地域全体の活力の向上につながるものと考えます。

人とのつながりや地域参加は、高齢者が健康で生きがいを持って暮らし続けるための基盤であり、将来の孤立防止や介護予防にもつながる重要な取組です。

そのためには、高齢者自身の主体的な参加を促すとともに、地域会議をはじめ、市や地域団体、自治区等が連携し、地域全体で参加しやすい環境を整えることが必要です。

３　提言の内容

調査により明らかとなった課題を踏まえ、要介護認定前の高齢者が人とのつながりを持ち、地域活動へ参加し続けられる環境づくりを進めるため、市と地域が共働して以下の取組を検討・実施していただきたいと考えます。

（１）高齢者支援と地域参加促進の情報誌の発行

高齢者をはじめ地域住民に必要な情報を確実に届けるため、全戸配布による情報誌を発行します。

情報誌には、高齢者向けの支援制度や相談窓口の紹介、地域団体の活動内容やボランティア活動、地域行事や交流の場に関する情報、地域活動の参加者募集のお知らせなどを掲載し、住民が地域の情報を知り、活動に参加するきっかけとなることを目指します。

また、情報誌をきっかけとして、家族や近隣住民とのコミュニケーションが生まれ、地域とのつながりを深めるとともに、高齢者の地域活動への参加につながることを目指します。

（２）高齢者支援と地域参加促進の地域会議フェスタ（仮称）の開催

地域団体や関係機関が一堂に会して活動内容を紹介し、高齢者支援や地域とのつながりについて考え、行動する機会として、地域会議フェスタ（仮称）を開催します。

主な対象は高齢者としつつ、学生など多世代の参加も促すことで、高齢者と若い世代との交流や、地域の新たなつながりが生まれる機会となることを目指します。

会場では、地域団体の活動紹介、高齢者支援制度の紹介、今後の生活について考える相談・体験ブース、世代間交流につながる企画などを実施し、地域活動への参加のきっかけとなり、新たな人とのつながりや継続的な地域参加につながる場を目指します。

また、情報誌と連携してフェスタの開催や地域活動に関する情報を広く周知することで、高齢者が参加するきっかけをつくるとともに、継続的な地域交流や地域活動への参加の促進につなげます。

（３）高齢者の孤独・孤立を防ぐ地域交流と継続的な地域活動の推進

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、日常的に人と関わり、地域とのつながりを持ち続けることが重要です。そのため、高齢者

の孤独・孤立を防ぐための交流機会を創出するとともに、地域での見守りや支え合いを含めた、継続的な地域活動を推進します。

具体的な取組としては、ふれあいサロンなど気軽に集える場の新設や充実、参加者の固定化を防ぐ取組、高齢者クラブなど既存団体の活動や学習会への支援などが考えられます。また、既存団体だけでは解決が難しい課題については、市や地域会議、自治区等が連携し、その克服に向けた取組を検討することが必要です。

さらに、地域活動に関心や意欲のある住民が参加しやすい仕組みを整えるとともに、高齢者がこれまで培ってきた経験や知識を生かし、地域を支える側として活躍できる機会を充実させます。多世代交流を進めることで世代を超えたつながりを育み、地域活動の活性化と担い手不足の解消につなげます。

４　今後の進め方

これらの取組は、実態調査により明らかとなった地域の課題を踏まえ、今後の美里地区における高齢者支援や地域参加の促進に向けた方向性を示すものです。

今後、市と地域会議、地域団体、自治区等が共働しながら事業の具体化を進めるにあたり、実施主体、必要な支援体制、事業規模、継続性などについて十分に検討し、高齢者が地域との関わりを持ち続けられる事業の実現を目指します。

また、これらの取組を地域に広く展開し、区長会等との連携を図りながら、各自治区において地域の実情に応じた取組を検討・実施していただくことを期待します。

美里地域会議としては、引き続き市と連携し、高齢者支援や地域参加の促進につながる具体的な事業の検討を進めるとともに、要介護認定前の高齢者が地域と関わり続け、互いに支え合いながら安心して暮らし続けられる地域づくりの実現に向けて取り組んでまいります。